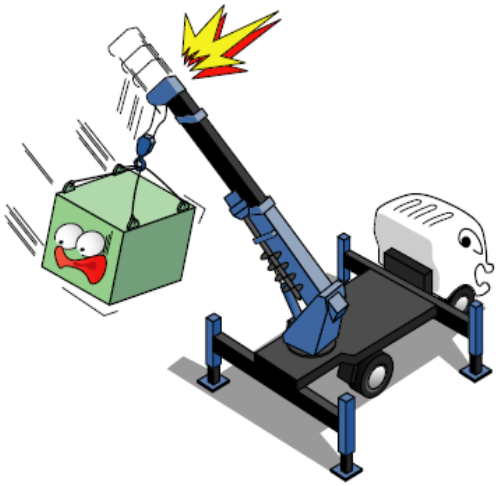
TADANO

事故事例 ブーム伸長用ワイヤ切断によるつり荷降下事故

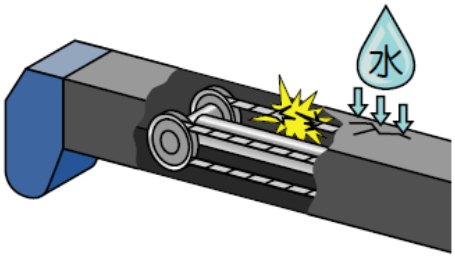
穴掘建柱車

事故発生状況

クレーン作業中、ブーム伸長用ワイヤ切断によりブームが縮小し、つり荷が降下した。



原 因



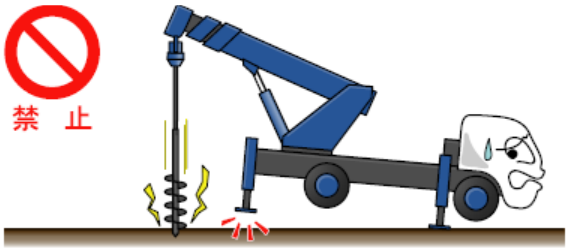
ブーム亀裂部より水が浸入し、伸長用ワイヤロープを腐食させ切断に至ったため。

対 策

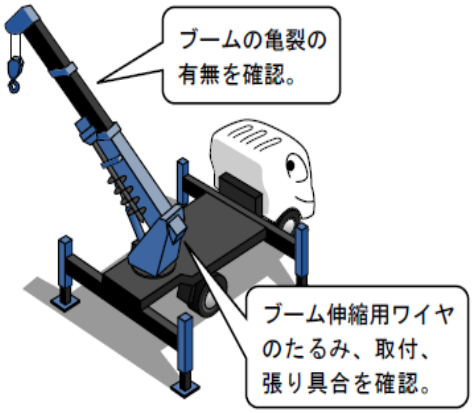
○ブームに亀裂を及ぼす作業を禁止する。

次の作業はブームを損傷させ、事故の原因となりますので行わないで下さい。

・必要以上なオーガスクリュの押し込み
・オーガスクリュでの斜め掘り
・クレーン操作での抜柱作業



○定期自主検査(月例・年次検査)時に当該部位の点検を確実に行う。



◇ブームの亀裂の有無を確認(月例・年次)
目視またはカラーチェックで亀裂の有無を確認して下さい。

◇ブーム伸縮用ワイヤのたるみ,取付,張り具合を確認(月例・年次)
目視,触診で、ブーム伸縮用ワイヤのたるみ,取付状態,張り具合を確認して下さい。

＜参考＞ブーム伸長用ワイヤは、「定期交換部品」です。
・4800 時間(4 年)【基礎工事に使用する場合は 2400 時間(2 年)】毎にブームの分解点検を行って下さい。
・点検時、伸長用ワイヤロープに交換基準を超える異常がある場合には、直ちに新しいものと交換して下さい。

Copyright (C)2009 TADANO Ltd. All rights reserved